

(様式1)

令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県五福公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市五福

3 施設設置年度
昭和33 年度

4 設置目的
昭和33年に初めて富山県で開催された国民体育大会にあわせて整備された運動公園

5 施設概要
敷地面積：15.6ha
主な施設
・県営富山野球場：19,700㎡ 収容人数20,000人
・陸上競技場：26,600㎡ 400mトラック8コース
・野球広場：20,800㎡ 2面
・スポーツ広場：12,100㎡ クレイ舗装

6 指定管理者
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
142,800	174,100	161,800	177,200	166,004

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H27	H28	H29	H30	R1
5,077	5,233	4,152	5,235	5,251

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H27	H28	H29	H30	R1
5,180	5,180	4,602	5,179	5,227

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は対H30年度比93.7% (11,196人減)、有料公園施設の料金収入対H30年度比100.3% (16千円増)であった。
・夏場の猛暑に加え、新型コロナウイルス感染防止の影響で3月には全ての大会が中止となったことが利用人数減少の要因である。収入については、陸上競技場の定休日の供用が徐々に浸透したことから、全体としてはH30年度並みとなった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した。(野球広場の早朝利用に合わせた供用時間延長、夏休み期間及び大会期間中の無休化など)
・県内の野球場関係者を対象としたグラウンド整備研修会を令和元年度初めて開催した。
・平成29年度から継続して、野球BCリーグの試合日にあわせて、地域住民参加型の「五福公園まちなかまつり」を開催した。
・桜とイチョウ並木のライトアップにあわせて富山大学のジャズ研究会とアカペラサークルによるライブを実施し、賑わいの場を創出した。
・体育の日に予約のない有料施設を無料開放した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・ポイントカード発行による利用料金割引を行い、リピーター確保と稼働率向上を図った。
・平成29年度に導入した有料公園施設の電子予約システムを、スマートフォン対応にリニューアルした。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：令和元年6月23日、10月14日 実施方法：来園者への対面アンケート
回答者数	まちなかまつり65人、体育の日無料開放76人 計141人
結果	・施設・設備の管理について：満足43.2%、普通52.5% ・芝生・樹木の管理について：良い54.6%、普通43.3%
結果を踏まえた改善事項	—

② その他利用者の声を反映させる取組み

・意見箱を2台設置（野球場正面入口、陸上競技場正面玄関）している。
・利用団体等と五福公園運営会議を実施した。

③ 主な苦情と対応

・五福公園の駐車場に学生が無断駐車している。⇒大学へ連絡
・園内作業中（請負業者）の軽四トラックが園内を走行するスピードが速く危ない。⇒園内徐行を遵守するよう注意

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・カターレ富山と連携したサッカー教室を開催した。
・近隣住民の協力を得て、排水路の清掃を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・指定管理者独自の供用時間の延長、供用日の拡大や富山大学の学生サークルと連携したイチョウ並木のライトアップなど、利用促進に取り組む姿勢が見られる。
・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、コストバランスも考慮しつつ、利用者の安全を最優先に優先順位をつけて計画的に修繕・更新を行っていく必要がある。
・今後とも、アンケート調査等による利用者ニーズの把握を行うとともに、合宿の誘致や様々な行事での利用を含め、積極的なPRや情報発信の方法の工夫などに努めてもらいたい。